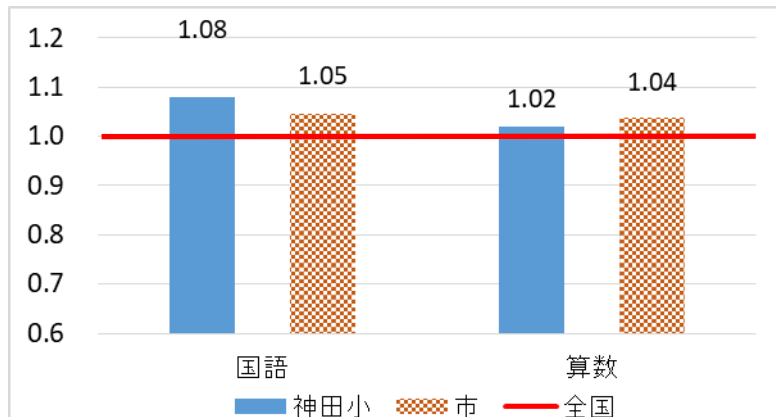


令和3年度 全国学力・学習状況調査について

第五中学校区 神田小学校

第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

【国語】

「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」領域の「目的や意図に応じて、理由を明確にしな
がら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」ができるかどうかをみる問題が全国
平均値を 23.4 ポイント上回る結果であった。これは、自分の主張したいことやそれを支える理由や
事例を明確にするという、ディベート学習で培われた力が活かされている。今後もディベート教育
に取り組み、考える力を育成していく。

【算数】

「数と計算」領域の「示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することがで
きるかどうか」を見る問題が全国平均を上回る結果であった。学校全体で取り組んでいる「目的や
意図に応じて説明する力」が身に付いてきている。しかし、目的に応じて集めたデータを二つの観
点から、二次元の表に分類整理する設問に課題が見られた。引き続き、「説明する力」を育てる授
業づくりに取り組むとともに、複数の観点から考察する学習活動にも取り組んでいく。

【質問紙調査】

「普段1日当たり4時間以上テレビゲームをしている」と答えた児童の割合が全国値より 9.9 ポ
イント上回っている。また、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」児童の割合が低いなど、規則的
な生活習慣に課題が見られる。一方、「学校の授業時間以外に、普段1日当たり2時間以上読書を
する」と答えた児童の割合は全国値より 12.9 ポイント上回った。今後、情報モラル学習に取り組む
とともに、成果が見られる読書活動の推進に引き続き取り組んでいく。

○学力向上の取組

【中学校区】

学力調査の結果を分析し、課題を共有している。また、毎学期、各校の取組・進捗状況を情報交
換し手立ての確認を行うとともに、ディベート教育・道徳教育を柱に考える力を育む「授業づく
り」研修会も実施し、朝の時間の有効活用についても各校で工夫を行っている。

【学校】

毎朝 10 分間の朝読書を継続することで、集中力が養われ、1日の始めを良い形でスタートす
ることができている。また、研究テーマである「目的や意図に応じて、説明する力をつける」ことや
ディベート教育に取り組むことで、「考える力」を育む授業づくりを行う。